

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

日立マイクロコンピュータ技術情報

〒100-0004

東京都千代田区大手町2丁目6番2号

(日本ビル)

TEL (03)5201-5227

(ダイヤルイン)

株式会社 日立製作所 半導体グループ

題 目	SH7751 PCIC 機能 (ターゲットリード/ライト)使用時の注意点		発行番号	TN-SH7-350A		
			分 類	1. 仕様変更 2. ドキュメント訂正追加等 ③ 使用上の注意事項		
適 用 製 品	HD6417751	対象ロット等	関連資料	SH7751 ハードウェア マニュアル	Rev.	有効期限
		全ロット			第1版	永年

ターゲットリード/ライトサイクル(メモリアクセス)の注意

SH7751のPCIC機能を使って、複数の外部マスタがSH7751ローカルバスのメモリ上の同じアドレスにメモリアクセスを行う場合、あるマスタがライトの直後にリードを行うとき、ライトされる前のデータをリードしてしまうことがあります。

この問題は、ある外部マスタのリードサイクルが完了してないうちに、別の外部マスタがライト/リードサイクルを続けて行い、後のライト/リードリクエストが最初のものと同じアドレス*に対して行われたときに起こる可能性があります。

上記の条件で転送を行う可能性のある場合、ライトの直後にリードを行う外部マスタは、以下の対策を行って下さい。

- (1)リードしたデータを実際に使用する場合は、ライト直後にリードしたデータは使用せず、2回リードを行って後の方のデータを使用して下さい。
- (2)リードしたデータを使用しない場合(ライトデータが実際にライト先に書き込まれるタイミングを知るためにリードを使用する場合は、ライト直後のリードアドレスを、ライトアドレスとは異なるアドレス**にして下さい。

【注】

* : アドレスフェーズのAD[31:2]が一致するものをさします。

** : ロングワード境界のアドレスAD[31:2]が異なるものをさします。